

車いす利用者が楽しめる京都観光とは？ ーマップ作製を通して考えるー



目的と背景

車いす利用者をターゲットにした立命館大学周辺の観光マップを作成すること、ゼミを通して問題発見能力や課題解決能力を養うことを目的とする。

車いす利用者と京都観光をした際に感じた不便さがきっかけ。マップ作製を通じた情報のバリアフリーを取り除く活動は学生にもできるのではないかという期待。

活動内容

週に1度のミーティングを基本とし、合計4回、2チームに分けてフィールドワークを行った。上賀茂神社、大徳寺、平野神社、北野天満宮、金閣寺、東映太秦映画村、周辺の飲食店へフィールドワークを行った。

フィールドワーク

- ・事前に各寺社仏閣にゼミの趣旨や撮影許可の連絡を取った
- ・メンバーの2人が車いすを利用しているため、身体的特徴や車いすの特徴、行動様式の違いを確認し意識しながら行った
- ・同じ場所に異なる車いすで訪れ、より包括的なデータ集めに取り組んだ
- ・車いす介助の方法について理解を深めた



マップ作製

▼上賀茂神社マップの例



①大鳥居から一の鳥居まで

大鳥居から一の鳥居までの道は段差がない。しかし、一の鳥居前の砂利は雨天時は通行しづらい。手動車いすでは前輪を浮かして通行可能だが、電動車いすではできない。

[立命館みらいゼミ2023 - OneDrive \(sharepoint.com\)](#)



②一の鳥居から二の鳥居まで

真ん中の砂利道は深さがあるので、通行可能な両端の芝生上を通行した。しかし芝生から砂利道に降りる瞬間の傾斜については注意が必要。

[立命館みらいゼミ2023 - OneDrive \(sharepoint.com\)](#)

[立命館みらいゼミ2023 - OneDrive \(sharepoint.com\)](#)



上賀茂神社と北野天満宮

※濃い内容でフィールドワークができて、写真等の許可を得ることができたため

- ・車いすで参拝する際に、注意が必要な個所を境内マップ上に明記し、番号を振り分けてリスト化した
- ・各ページで写真や動画リンクなどの資料を差し込みながら解説した
- ・天候や、介助者の有無、車いすごとの比較を織り交ぜて解説を行った
- ・リストにリンクをつけることで、簡単に各ページにアクセスできる工夫を施した
- ・各自で作業を進めながらも、最終段階で共有することで包括的な資料になるよう心掛けた

ゼミの感想と考察

各週のミーティングやフィールドワークの参加率の高さから充実したゼミ活動を行うことができた。多様なゼミメンバーで活動できたことで、車いす利用者ごとの違いや、手助けの方法を学ぶことができた。撮影許可や観光マップ作製の許可の連絡をした際に、自分たちの思い描いた返事を頂けないという経験をした。この経験や、寺社仏閣の担当者にお話を聞かせてもらう中でバリアフリー化の難しさや課題を知ることを知り、理想の社会像を押し付けて対立するのではなく、多くの人の共感と呼ぶような落としどころを考えることが大事だと気付いた。今回は、観光資源として寺社仏閣を扱ったが、本来それらは参拝を目的とする建造物であるからこそ、車いす利用者を含む多くの人が訪れやすい場所になるべきなのではないかという新たな疑問も見つかった。

